平成２６年度　ちはら台霜月自治会　会長あいさつ

ちはら台霜月自治会　会長　堀内　夕希

日頃より自治会活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。
今年度、会長に任命されました堀内と申します。
任期中、何かとご不便をおかけするかもしれませんが、何卒よろしくお願いいたします。

さて、今年度の霜月自治会は４５５世帯（賛助会員１）でスタートを切りました。
これは、全ちはら台単位自治会で２番目の大きさになります。さらに当管内においては、住宅が増える余地があり、７丁目１１番地が開発されれば、ちはら台一大きな自治会になるでしょう。
そんな中我々役員一同は「実りある霜月」「防災の霜月」「防犯の霜月」をスローガンに、農園行事、防災備蓄、防犯活動と大きな自治会に恥じないよう力を注いでいきます。

ご存じの通り、我が霜月自治会は農園を運営しており、毎年じゃがいも・さつまいもを栽培してまいりました。今年度はさらに大根、ミニトマトなどを栽培し、もちつき大会のからみ餅や夏祭りでの販売に挑戦していきます。
ちはら台では自治会単位で農園を運営出来るのは大変珍しい事であり、独自の自治会館を所有している事に匹敵するほどの財産だと私は思っています。
せっかくのこの財産をさらに有効に使い、じゃがいもやさつまいもの収穫祭の際には試食を行い、『食育』という観点から地域の子供達に野菜の育て方、収穫の仕方、食べ方などを伝えていければいいと思います。

また、先の東日本大震災での経験を踏まえ、防災備蓄用品の充実を早急に進めます。
災害発生後は自助・共助・公助が必要とされますが、市や国からの支援（公助）が届くまでの数日間の備蓄（共助）の一部でも備蓄しておけるような体制を整えます。
その為に昨年度は防災倉庫を２棟設置いたしました。そのうち霜月公園防災倉庫にはすでに防災備品（発電機、炊き出し用具一式など）が格納されています。しかしながら水や食料といった生きる為に必要なものは備蓄出来ていないのが現状です。今年度はすべてのご家庭に行き渡る量は購入出来ないかもしれませんが、来年度・再来年度と徐々に備蓄を増やしていき、防災に強い自治会を目指します。

さらに、我が自治会からの犯罪犠牲者を出さない為にも、防犯パトロールを行っていきます。防犯パトロールはそれ自体で犯罪者・不審者を見つけたり捕まえる事は出来ないかもしれませんが、パトロールをする事により地域住民同士の連携を強める事によって、抑止力が増すものと考えます。
また防犯パトロールだけでなく、普段からの住民同士のあいさつ・声掛けなどを推進します。お互いが顔をよく知ることによって、不審者の早期発見につながります。
犯罪者の立場になれば、地域住民同士が連携を取っている町会ほどやりにくいものはないでしょう。
幸いにも、当自治会は比較的犯罪が少ない統計が出ています。これからも犯罪のない自治会を目指します。

以上を目標に、今年度１年間、皆様のご指導ご鞭撻を賜りながら運営していきます。
役員一同、どうかよろしくお願いいたします。

平成２６年度　会長　　堀内　夕希